

職員による作成及び出演によるYouTube動画を 作成して「新しい避難」の啓発及び普及活動について

◆目的

出水期前に、洪水及び土砂災害に関する避難動画を作成して、市民への啓発を行い、風水害から被害の軽減を図る。

◆経緯

現状、避難情報を発令しても、避難者が少ないことから特に、防災に関心が薄いと推測される20代、30代（以下、「子育て世代」という。）をメインターゲットとして、YouTubeを媒体してとっつきやすい動画を作成して、啓発及び普及

※高齢者は紙媒体（市報、防災マップ）とし、子育て世代はSNSとして切り分けて広報

※子育て世代から高齢者層（おじいさん・おばあさん）にも声掛けし、避難を促す など

◆動画の構成

- 新しい避難 (分散避難のすすめ)
- 避難情報(ガイドラインの改正) 及び 避難情報の流れ
- 避難所の説明

◆動画の内容

- 危機管理監あいさつ（趣旨の説明）
- 売れない漫才(職員)による避難のポイント等の説明
- パラパラ漫画(職員風)によるわかりやすく解説
- 避難所を実設し、受付、居住性を説明

◆再生回数：1,511回(P R検討の必要性あり)

